

TaKeFu SSH NEWS



福井県立武生高等学校
SSH 研究推進部
2023年10月3日発行

SSH NEWS No.19

19 プロジェクト∞無限大 (Project∞Infinity) 第4報

8月27日「日本 OECD 共同研究国際共創プロジェクト 夏の無限大ワークショップ in 関西」が神戸親和大学で開催され、本校から菅野媛菜さんと高島佑季さん、室井浩貴教諭が参加しました。全国からの多様な立場の参加者とワークショップを行いました。



最初の研修として、参加者同士が立場を超えて出会うために自己紹介を行い、盲学校の生徒がつくった粘土像の感想を共有しました。OECD「プロジェクト∞無限大」の成立経緯や探究学習に関する事例を聞いた後には、「大人部会」と「生徒部会」に分かれて研修を行いました。「大人部会」では、カナダの先生からロケットに関する探究学習の事例を伺い、海外の実践を日本の探究学習にどう活かしていけるか考えていきました。生徒部会では、学校の Well-being に着目をして、「もしも、学校が家みたいにくつろげる場所だったら？」というテーマで、グループでアイデアを出し、全体で発表していきました。



昼食後には、2つのミッションに取り組みました。ミッション①では、「Ecosystem」・「Logic Model」・「Collective Impact」の3つの語句を、簡単な日本語で表現するアイデアを皆で出していきました。ミッション②では、「Policy & Economics」・「Society」・「Technology」の3つのテーマについて、ファシリテーターから与えられた資料を見ながら、学校毎にグループを組んで現在の世界の在り方や理想的な将来について考えていきました。その後、再度「大人部会」と「生徒部会」に再度分かれて、評価に関するワークショップをそれぞれ行いました。「大人部会」では、エストニアの教育改革・評価(特に、探究の評価)について、現地の研究者のお話を聞きました。「生徒部会」では、評価に関する意見を付箋に書き込み、発表しました。生徒が望む評価の在り方について大人が耳を傾けることで、互いに新しい発見がありました。最後には武生高校が行っている「ジェンダーギャップの解消」に向けた取り組みと、今後の展望について菅野さん・高島さんが発表しました。本校の実践に多数の参加者が興味を持ち、研修後に質問や感想が寄せられました。

【生徒の感想】 ・今回のイベントでは年齢にとらわれずに子どもも大人も自由に自分の意見をたくさん発言できるような雰囲気の中で、OECD という一見難しそうな取り組みに参加しているはずなのに、イベントが終わった後はすごく遊び疲れた感じがして、帰りたくないという気持ちでいっぱいでした。今回の「旅」では、過去や現在の社会、そして自分たちの未来の社会のことなどについて考えました。